

桂川（豊後高田）のイメージと再生の方向性

九州大学大学院工学府 学生員 片山 明俊
 九州大学工学部 学生員 土肥 薫
 九州大学大学院工学研究院 フェロー会員 島谷 幸宏

1、はじめに

大分県の国東半島に位置する豊後高田市は、「昭和の町」をイメージしたまちづくりを行っている。その中心部を流れる、桂川では、ホーランエンヤや裸祭りが行われるなど豊後高田市のシンボルとして人々に親しまれてきた。しかし、昭和 16 年の大水害を契機として桂川では災害復旧工事における護岸工事が行われ、コンクリートに覆われた川となった。そこで本研究では桂川再生プロジェクトに向けて桂川に対する住民のイメージを調査し、桂川をどのように再生していくかの方向性について研究する。

2、研究方法

・アンケートの実施

平成 17 年 12 月 1 日から 2 週間の間、桂川下流域の住民を対象に、桂川に対するイメージと河川の利用実態についてのアンケート調査を行った。アンケートの配布方法は回覧板へのアンケート添付という形で行い、回収は郵送により行った。その際、アンケートは 1 世帯につき 2 部ずつ 1009 世帯に配布した。回収封筒数は 197 部、アンケートは 301 部回収した。回収率は 19. 6%となった。

アンケートの内容は属性に関する項目、過去・現在・未来の状況の合計 4 項目について行った。

属性項目については 年齢（10 代～30 代までを 1 つのグループとする）、 居住年数（1 年未満、1～5 年、6～10 年を 1 つのグループとする）、 桂川までの直線距離（今回は、500～750m、750～1000 m、1000m以上を 1 つのグループとする）、 出かける頻度、 水害の 5 項目で分類する。過去の項目については、「今と比べて何が変わったか」、「昔の風景のなにかよかったか」の質問を自由回答で行った。現在の状況については、自然の豊かさ、美しさ、利用状況などの項目を設けた。未来については、どのような川にしたいかを尋ねた。

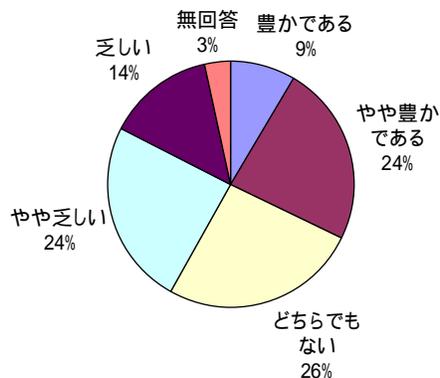


図 1 自然豊かな川か

3、結果

(1) 現在の桂川のイメージ

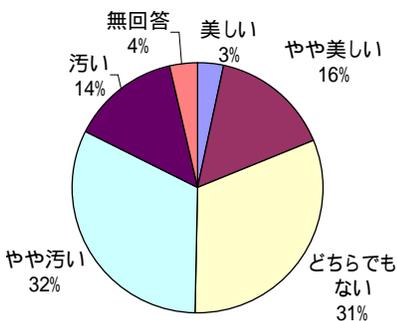


図 2 美しい川か

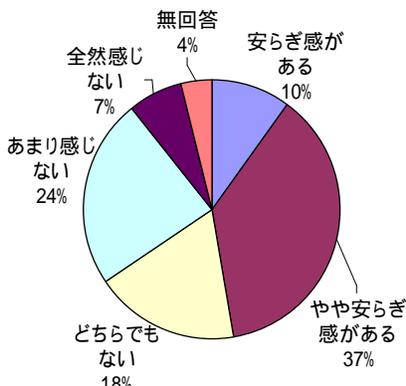


図 3 安らぎ感があるか

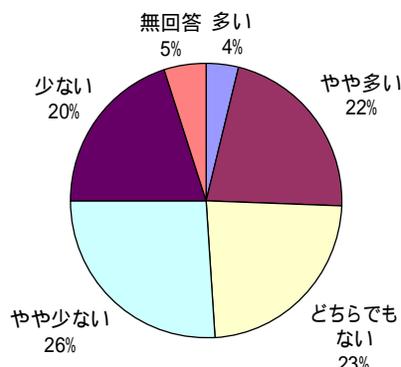


図 4 河原が多い川か

アンケートの結果を図 1 から 4 に示す。自然豊かな川であるかという質問には、「自然豊か」+「やや豊かである」が 33%、「自然が乏しい」+「やや乏しい」と答えた住民が 38% とほぼ拮抗している。桂川が美しい川かという質問に関しては、「美しい」+「やや美しい」と答えた住民が全体の 19% しかおらず、ほぼ 5 割の住民が、「汚い」+「やや汚い」と思っている。川に対して安らぎ感があるかという質問には住民の 47% が安らぎ感があると感じている。住民のほぼ半数が河原が少ないと答えている。

属性別に回答に差異があった一例を見て

みる。距離属性と「美しさ」に関する回答は、桂川に近い住民ほど「汚い」と感じており、遠くなるにつれて「汚い」と思う住民の割合は減っている。これは桂川に近い住民ほどよく川を見ているためではないかと考えられる。

(2) 昔の風景についてのアンケート結果

「昔の風景の何がよかったですか?」という質問の自由回答を K-J 法により集計した。その結果、大きなカテゴリで見ると、人の活動に関わるものが 58、松などの木や草などの植物が 38、水のきれいさなどの水に関するものが 35、自然や生物など自然美に関して 24、河岸などの河川構造物が 22、河床材料については 12、の順になっている。特に、細かくみると、「松、ムクなどの樹木がよかった」が 29、「水がきれい」が 26、「子供たちが泳いだり、水遊びをしていた」が 21、「護岸や河岸がよかった」14、「船がよかった」13、となっており、昔の桂川のいい風景が把握できた。

(3) 未来の桂川について

年齢と将来の桂川についてのグラフを図 6 に示す。年齢による大差は見られないが、豊後高田の住民は、自然豊かであり、昭和の町のイメージ、昔の桂川を望んでいること、今のままでいいという意見は少数であることがわかる。

4. まとめ

桂川再生の方向性として以下の点が明らかになった。

自然が豊かで、昭和の町、昔の川のイメージを持った川。

昔の風景として、人の活動、樹木、石の護岸、水のきれいさが要素として重要である。

(参考文献) 皆川朋子 河川中流域における自然環境の変化と保全・復元に関する基礎的研究(2004)

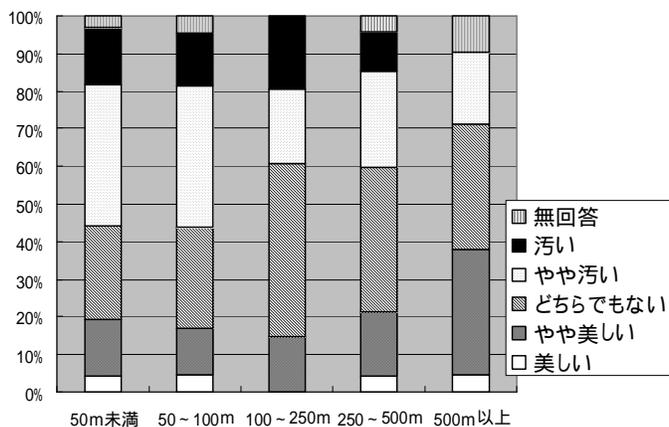


図 5 桂川までの直線距離と美しい川との関係

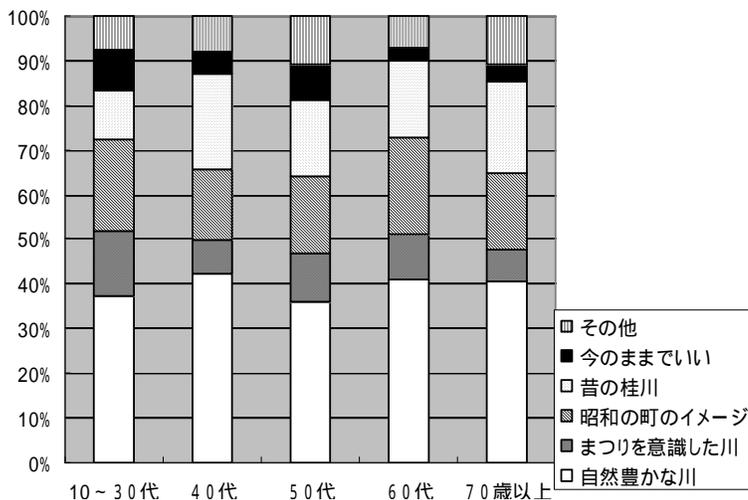


図 6 年齢と将来の桂川関係